

こ みち
教育の小径

【今月の花】
マンサク
【花ことば】
神秘・直感

今月の記念日

110番の日(1月10日)

警察へ緊急通報する電話が設置されたのは昭和23年10月のこと。当時、東京(23区)は110番、大阪や京都は1110番、名古屋では118番でした。110番に統一されたのは昭和35年です。「110番の日」は110番の正しい利用を呼びかけるキャンペーンとして警察庁が昭和60年12月に制定しました。



国士館大学教授
北 俊夫先生

今月の
テーマ

教科等における道徳教育

- 新学習指導要領では、現在の子どもの生活状況や課題など実態を踏まえて、道徳教育の一層の充実を求めています。
- 各教科等と道徳教育との関連を図るポイントは、内容や教材・題材のレベルのほかに、学級経営の視点として位置づけることが考えられます。「道徳教育の全体計画」を見直すことも大切です。

なぜ改めて道徳教育なのか

新学習指導要領には、これまでのように総則において道徳教育を全教育活動を通じて推進するよう示されています。さらに、今回は各教科等の学習指導要領においても、道徳教育の目標にもとづき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、それぞれの教科等の特質に応じて適切に指導することが示されています。どうして、教科等において道徳教育との関連を考慮することが求められているのでしょうか。

学習指導要領の改訂の折りには、道徳教育の充実がいつも課題になります。かつて教育再生会議で、道徳を教科にしようかという提案がなされましたが、さまざまな理由から今回は見送られました。

道徳教育が重視される背景には、いまの子どもの実態があります。指摘されている課題には例えば、社会規範や公共心の欠如、公意識の希薄さ、問題行動や事件・事故の多発化、自他の人格や生命や人権を脅かす行為の増加、誤った個人主義の広がりなど枚挙にいとまがありません。社会の秩序と安全を保つためには、これらのいずれの課題も喫緊に解決しなければなりません。

こうした課題を解決するためには、道徳の時間だけでなく全教育活動のなかで、道徳的な価値を自覚させるとともに、自己を確立させ自己の生き方を考えさせる教育がますます重要になっているのです。

教科等と関連を図るポイント

各教科等には、それぞれで指導すべき固有な目標と内容があります。教科等の特質を踏まえると、およそ次の三つの視点から、道徳教育との関連性を考え実践することが考えられます。

まず、内容レベルの関連です。例えば「働くことの大切さを知る」という道徳教育の内容は、社会科の仕事や産業に関する学習と関連づけることができます。また、「自然の偉大さを知り、自然環境を大切にしよう」という内容は、理科の学習と関連しています。次に、国語科や図画工作科などの教科では、教材や題材のレベルで関連づけることができます。例えば先人の働きや努力などをもとにした伝記や記録文を題材として活用します。国語科の目標を実現させる過程で、先人の働きに関心をもたせることができます。

さらに、道徳の学習指導要領には、学級経営を進める上で配慮すべき内容が示

されています。子どもたちの人間関係づくりなど学級づくりの視点として活用し、関連づけることができます。

全体計画の見直しを

各学校では「道徳教育の全体計画」を作成しています。これをいかに実効性あるものにし、いかに成果をあげるかがポイントです。

例えば、全教育活動をとらえて道徳教育の目標が実現できるようになっているか。道徳の時間が道徳教育の「要」となっているか。道徳教育推進教師が配置され、その役割が十分に発揮されているかなどの観点から、現在の全体計画を見直してはどうでしょうか。

また、教科等の学習指導案に「道徳教育との関連」といった項目を設定して、指導上のポイントを示す方法もあります。これによって、教師はこれまで以上に意識して指導することができるようになります。

教科等の指導において道徳教育との関連を考慮するということは、教科等の時間を道徳の時間にすることではありません。各教科等に求められている目標や内容を指導することが疎かにならないように留意することが大切です。

学習指導要領には、学年ごとに指導する漢字が配当されています。これらの漢字は、振り仮名（ルビ）を付けるなどの配慮をして、「当該学年以前の学年」で指導できるようになっています。

例えば「授業」の「授（じゅ）」は5年で、「業（ぎょう）」は3年で取り上げられます。したがって、4年で扱うときには「じゅ業」となります。しかしこれでは文字のイメージが伝わらないこともあります。そのため、子どもの学習負担に配慮したうえで、「授業」と振り仮名を付けて表記することができます。これには、「じゅ業」のような「交ぜ書き」を減らして、振り仮名付きの漢字を多くし、漢字に接し読む機会を増やす必要があります。

4年の社会科では47都道府県の名称が取り上げられます。漢字配当表によると、新潟県の潟、山梨県の梨、滋賀県の滋、奈良県や神奈川県の奈、香川県の香、岡山県の岡など、都道府県の名称に使われている18の漢字が小学校で未習です。これらの漢字は振り仮名を付けて漢字で表記し、まず読めるようにすることが大切でしょう。

常用漢字表が改定されましたが、小学校では4月から使用する教科書がすでに検定・採択されているため、「読み」「書き」とともに現行の学年別漢字配当表にもとづいて指導します。

授業は、挨拶を交わしたあと、開始されます。多くの場合、第一声は教師から発せられます。「今日の算数の時間は〇〇について勉強します。教科書の〇ページを開きなさい」のように、教師からの課題提示と指示で授業がスタートしていきます。ここでの子どもたちは教師から指示を待つという、受け身の態度です。授業に対して、子どもたちの姿勢をもう少し能動的に変える手だてではないのでしょうか。

挨拶のあと「今日は〇〇のことを勉強します」などと、授業のめあてを子どもから提起されるようになると、授業に対する構えや態度が一層主体的に変わってきます。

そのためには、前時の授業の終わり

方を工夫する必要があります。授業は連続しているからです。前時の終末では学習の成果を整理するだけでなく、さらに学習しなければならない「残された課題」を明確にしておきます。これが「次時の予告」にもなります。この内容を子どもたちが本時まで意識していれば、「今日は、前の時間に残った〇〇について勉強したいです」と、第一声が子どもたちから出されます。

授業の第一声が教師か子どもか。ここにも教師の授業力を確かめるポイントがありそうです。



教育キーワード 第三者評価

学校評価には、「自己評価」「学校関係者評価」「第三者評価」の三つの実施手法があります。文部科学省は、平成22年7月に「第三者評価」についてのガイドラインを示しました。これは、平成22年3月に調査研究協力者会議から提言された「報告」の内容を踏まえたものです。

第三者評価は、実施義務のある自己評価や、実施の努力義務のある学校関

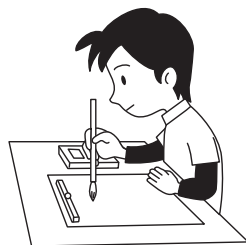
係者評価と違い、学校とその設置者（教育委員会）が必要かどうかを判断して行うものとされています。

実施する場合には、①学校運営に関する外部の専門家を中心にチームを編成して実施する、②学校関係者評価の評価者の中に学校運営に関する外部の専門家を加えて実施する、③地域内の複数の学校が協力して、互いの教職員が実施するの三つが示されています。

学級通信に使える今月のイラスト



竹馬



書初め

編集後記

常用漢字表が改定され、新たに196字が追加されました(5字削除)。中には「鬱」「彙」といった、言葉としてはよく使うのに書きづらい字も含まれています。パソコンや携帯電話では簡単に変換できますが、「常用」とありますから、「そらで」書けるようにしたいと思うのは、手書き世代だからでしょうか。(H記)



企画・編集 ばんぺい教育研究所
発行：株式会社文溪堂 発行日：2011年1月1日

Information (PR)

評価規準の作成に!

新しい指導計画作成のための 目標分析と具体的評価規準

- ◎監修 梶田叙一
- ◎定価 1,800円(税込)
- ◎付録 CD-ROM(評価規準シート)

A4判・272ページ



指導要録の記入に!



指導資料PART32 小学校児童指導要録 解説と記入方法 Q&A

- ◎監修 梶田叙一
- ◎編者 古川 治
- ◎定価 1,200円(税込)

A4判・128ページ